

64列CT装置での冠動脈CT画像のバンディングアーチファクトの発生率調査について

1. 対象患者様 2017年に外来にて冠動脈造影CT検査を行なった患者様。ただし過去に冠動脈バイパス血行再建術を行われ、内胸動脈撮影が含まれる方は除く。
2. 研究期間 倫理委員会承認日から2023年3月31日までの予定
3. 研究概要 CT画像にバンディングアーチファクトを認める画像を抽出し、割合を算出し、その検査画像で冠動脈全体を診断可能か循環器内科医師が判断する。
4. 研究目的 当センターでは現在256列検出器の装置を使用しているため診断能が64列装置で行った画像診断能より上回っていると思われるが、どのくらいの割合の患者様が装置による不利益を受けていたか確認するため。
5. 研究責任者 北播磨総合医療センター 診療支援部 中央放射線室 坂本久彰
6. 参照する画像データの扱い 画像閲覧は当センター設置の画像閲覧装置で閲覧するため、院外に画像データを持ち出す事はございません。
7. 個人情報の管理 患者様個人の名前、生年月日、身長、体重、臨床症状等の情報には触れることなく、CT検査の再構成画像のみの閲覧となります。
8. 利益相反等 本研究で装置メーカーや企業等から資金援助等はありません
9. 研究へのデータ使用の取り止めについて この研究へのデータ取り止めはいつでも可能です。取り止めを希望されても何ら不利益を受けることはございませんし、すでに画像診断され治療経過観察されているのが現状で、それが変更されることはございません。
10. 問い合わせ窓口 この研究についてご自身の画像データが閲覧されているか確認したい場合や、データ使用の取り止めを希望される患者様は下記窓口までお問合せ下さい

連絡先

北播磨総合医療センター 診療支援部 中央放射線室 坂本久彰

0794-88-8800 (平日 9:00~16:30)